

外科・内科・内視鏡 ケアがひろがる・好きになる

消化器ナーシング

判 型 B5判／約100頁

定 価 本体2,000円＋税

発行部数 12,000部／年2回増刊発行(3月・9月予定)

創 刊 1995年12月

発売日 掲載月の前月15日ごろ

▶ 広告申込締切日 詳細は、各誌「広告企画書」でご確認ください。
<https://www.medica.co.jp/ad/>

編集委員長

斉田 芳久
 東邦大学医療センター大橋病院
 外科 主任教授／
 副院長 医療安全管理室長

編集委員

斎藤 豊
 国立がん研究センター中央病院
 内視鏡科長・内視鏡センター長
 阪本 良弘
 杏林大学医学部 肝胆脾外科
 教授・診療科長
 瀧口 修司
 名古屋市立大学 消化器外科
 教授・診療部長
 山本 夏代
 国立健康危機管理研究機構
 国立国際医療センター 消化器内科
 診療科長

■本誌について

『消化器ナーシング』は、消化器外科・消化器内科・内視鏡領域を対象とした、消化器にかかわるすべての病棟看護師のための専門誌です。他では見られない消化器外科・消化器内科看護の最新情報と専門知識を「ひと目でわかる」と「整理して理解できる」ように、徹底的にわかりやすく解説します。手術・内視鏡治療・カテーテル治療・薬物療法など、消化器領域の多岐にわたる治療に関する知識や技術が日々進歩を遂げるなか、最新の治療にマッチした看護展開を可能にする情報が満載の一冊です。「難しいことこそ、わかりやすく」をモットーに、消化器ナースの「困った」「わからない」に応えます。

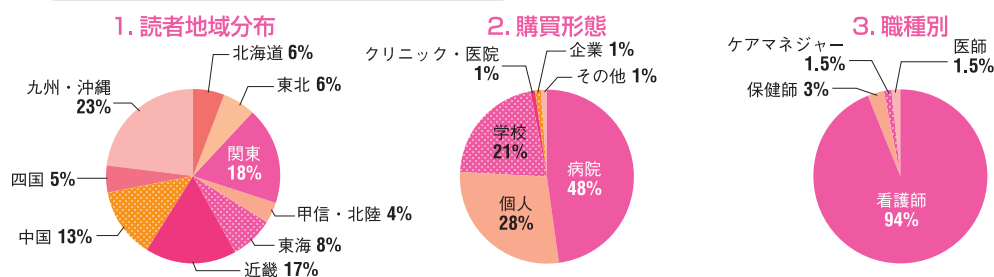


消化器外科の術前術後看護において特色のあるものとしてはストーマケア、また関連機器を含めたドレーン類やルートの管理、創傷ケアなどがあげられます。特にストーマ装具やドレーン材などの選択においては看護師が非常に大きな役割を果たすことから、関連商品のPRには最適の媒体です。消化器内科では内視鏡治療・薬物療法などの治療後のケアが主であり、消化器内科病棟・内視鏡室・血管造影室の看護師向けに、内視鏡関連の器具・器械・洗浄用品、カテーテル治療関連の商品、抗がん薬など薬物療法関連の商品もPRできます。

読者ターゲット

全国国公立・私立病院の消化器領域に携わる消化器外科／内科病棟・外科（一般）病棟、外来のナース、内視鏡室のナース、血管造影室・IVR 室のナース、皮膚・排泄ケア認定看護師、看護大学・短大・専門学校の教員、学生 他

読者プロフィール（当社調べ）



4. 読者が興味のあるテーマ

- 第1位 ストーマケア
- 第2位 創傷・ドレーン管理／内視鏡治療
- 第3位 術前術後ケア

広告スペースと料金表

掲載面	刷色	広告スペース	サイズ(mm)	料金(円・税抜)
表4	4色	1ページ	205×172	¥250,000
表2	4色	1ページ	257×182	¥230,000
表3	4色	1ページ	257×182	¥210,000
記事中	4色	1ページ	257×182	¥160,000
記事中	1色	1ページ	220×150	¥80,000
記事中	1色	1/2ページ	105×150	¥50,000
綴込	-	1枚	-	¥100,000

※増刊の広告スペースに関しては、別途お問い合わせください。
 ※4色広告は全て断ち切りサイズです。
 ※広告掲載前に審査がございます。
 事前に広告内容をお知らせください。